

令和7年度

# 全国学力·学習状況調査

調査結果の概要と課題、改善の方向性について

令和7年4月に3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果を お知らせいたします。

- ○今回実施された国語、数学、理科に関して、本校の概要を示しました。
- ○調査教科の課題を指導内容と照らし合わせて、改善の方向性を示しました。
- ○生活習慣や学習環境に関する調査について、特徴的な項目についてまとめました。

「全国学力・学習状況調査」の全国の結果については、国立教育政策研究所のホームページをご覧ください。https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/index.html

「全国学力・学習状況調査」の札幌市の結果については、札幌市教育委員会のホームページをご覧ください。<a href="https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gakute/gakute\_hp.html">https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gakute/gakute\_hp.html</a>

## 札幌市立平岡緑中学校

## 中 学 校 国 語

### 本 校 の 概 要

### 今回の調査における課題

#### 改善 の 方 向

### [領域]

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 口全国平均を上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」 口全国平均を上回っている。
- 「書くこと」
- 口全国平均を上回っている。
- 「読むこと」
- 口全国平均を上回っている。

- ●事象や行為を表す語彙に ついて理解すること。
- ●資料や機器を用いて、自 分の考えが分かりやすく 伝わるように表現を工夫 すること。
- ●目的に応じて、集めた材 料を整理し、伝えたいこ とを明確にすること。
- ●文章の構成や展開につい て、根拠を明確にして考 えること。

- ○語彙の表面的な意味だけ でなく、その言葉がもつニ ュアンスや使われる状況等 を考える学習活動の充実。
- 〇内容を構造化し、デザイ ンをシンプルにするなど資 料の効果的な活用方法を考 える学習活動の充実。
- ○大量の情報の中から、本 当に伝えたいことを見付 け出し、相手に明確に説 明する学習活動の充実。
- ○根拠に基づいた説得力の ある文章を作成する学習 活動の充実。

### 本校の概要

### 今回の調査における課題

### 改善の方向

### [領域]

「数と式」

口全国平均を上回っている。

### 「図形」

口全国平均を上回っている。

#### 「関数」

口全国平均を上回っている。

「データの活用」

口全国平均を上回っている。

- ●式の意味を読み取り、成 り立つ事象を見いだし、 数学的な表現を用いて説 明すること。
- ●ある事柄が成り立つこと を構想に基づいて証明す ること。
- 一次関数について、変化 の割合を基に、値の変化 を正しく求めること。
- ●相対度数の意味について 正しく理解すること。

- ○単なる記号の羅列として 捉えるのではなく、式の背 後にある意味を読み解く学 習活動の充実。
- ○証明に至るまでの思考プ ロセスを意識的に鍛える学 習活動の充実。
- ○基本的な概念の徹底理解 を図り、多様なアプロー チから複数の解法を身に 付ける学習活動の充実。
- 〇データの比較を通して割 合の必要性について理解 し、「何のために」を考え る学習活動の充実。

数 学

中

学

校

### 今回の調査における課題

### [領域]

- ●回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能を身に付けること。
- ●元素を記号で表すことに関する知識及び技能を正しく身に付けること。
- ●生命を維持する働きに関する正しい知識を概念として身に付けること。
- ●地層を構成する粒の大きさとすき間の 大きさに着目して分析し、正しく解釈 すること。

### 改善の方向

- ○単なる知識の暗記に留まらない、深い理解と実 践的な技能を身に付ける学習活動の充実。
- ○語呂合わせや反復練習、グループ化などを組み 合わせるだけではなく、原子がどのように結び ついているかを理解する学習活動の充実。
- 〇生命を維持するための反応について基本概念を 理解し、実験などを通して具体的な分解反応の 例をもとに概念化していく学習活動の充実。
- ○観察や実験における分析と解釈の手順を大切に し、地層の形成過程や特性と結びつけて理解す る学習活動の充実。

### 生活習慣や学習環境に関する調査

生徒質問用紙 70 項目のうち、全国平均と本校の平均について比べることができる項目において、顕著な特徴が見られるものは次のようになった。

### 【全国平均より「上回っている」項目】※上回っている割合が高いものから順に記載

- 〇「理科の授業の内容はよく分かりますか」
- 〇「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか」
- ○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に 取り組んでいますか」
- ○「理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、 新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか」
- 〇「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」
- ○「国語の授業で、文章を書いた後に読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、 語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか」

### 【全国平均より「下回っている」項目】※下回っている割合が高いものから順に記載

- ▼「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」
- ▼「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」
- ▼「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」
- ▼「数学の勉強は得意ですか」
- ▼「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ▼「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると 思いますか」

### 【分析と支援】

- ○理科の授業に意欲的な生徒が多い。学習課題を自ら把握し、観察や実験を積み重ねることで思考力や表現力が高まり学習内容の理解にもつながっている。
- ○教科や総合的な学習の時間において、自分の考えを発表する機会が多く設定されていることが分かる。また、自分の考えを相手に正しく伝える方法、資料提示の工夫についても深く考えている生徒が多い。
- ○学校生活の中でタブレットに触れる機会が多く設定されており、ICT 機器の活用が浸透している。
- ▼数学に苦手意識をもっている生徒が多くいる。学習の見通しや振り返りを参考としながら、主体的な学び が促されるような働きかけを一層充実させていく。
- ▼「学び」と「学び」が結びつくよう、既習事項を活用した学習活動の充実を図る。
- ▼学校生活を送る中で悩みや困りを感じている生徒が少なくない。相談活動を充実させ、いつでも気軽に相談ができるような支援を行っていく。